

知床硫黄山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 概況

・火口や噴気の状況（図 1～3）

14 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。

北西側中腹の爆裂火口からはごく弱い噴気が立ち上り、赤外熱映像装置*による観測では引き続き弱い地熱域が確認されましたが、これまでの観測時（前回：2006 年 10 月 5 日）と比べて地熱域の拡大や温度上昇は認められませんでした。

山頂部では噴気は確認されませんでした。



図 1 知床硫黄山 知床硫黄山周辺
(2007 年 5 月 14 日 図 2 ①方向から撮影)

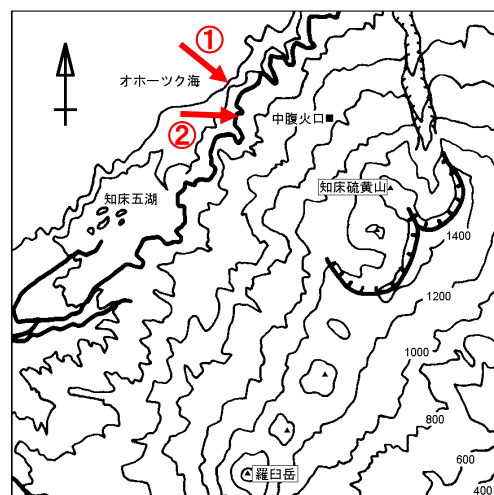


図 2 知床硫黄山 周辺図

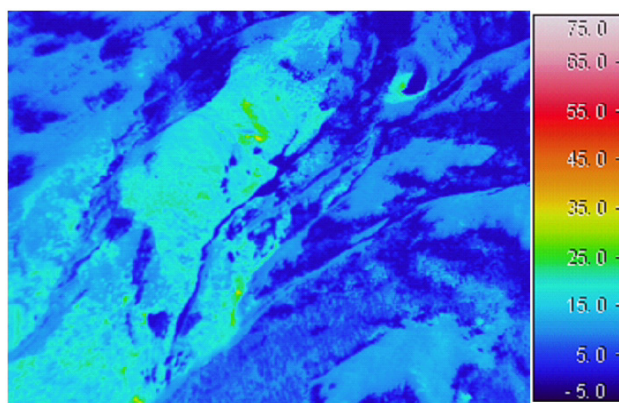
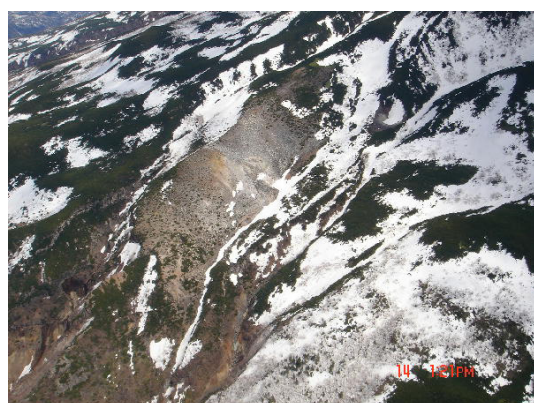


図 3 知床硫黄山 赤外熱映像装置*による北西側中腹爆裂火口の表面温度分布
(2007 年 5 月 14 日 図 2 ②方向から撮影)

* 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50000 (地図画像)』を複製しています (承認番号 平 17 総複、第 650 号)。